

日南町長 増 原 聡 様

平成 24 年度日南町行政改革推進委員会提言書

平成 25 年 2 月 19 日

日南町行政改革推進委員会

会 長 近藤 仁志

日南町行政改革推進委員会 提言書

日南町長 増原 聡 様

日南町行政改革推進委員会

会長 近藤 仁志
新 章美
生田 寿美子
池内 豊
小竹 優子
佐々木 幸喜
西村 利史
福原 伴美
柳生 肇
山脇 亜紀

●はじめに

日南町の財源の80%は地方交付税をはじめ、国や県などから配分される依存財源であります。国の行財政改革により平成13年度から普通交付税の大幅削減で、厳しい財政状況を迎えました。これを契機に平成16年度から20年度を「行財政改革実施期間」とし、諸事業の見直しや公共料金の値上げなどを行いました。早い段階での取り組みとともに、町民の理解と協力があったことにより、平成23年度決算においても実質赤字比率、連結実施赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、公営企業会計の資金不足比率いずれも、地方公共団体の早期健全化基準を下回る数字でした。

一方、我が国の経済は東日本大震災と原発事故を契機としたエネルギー供給の不安、世界的な景気の減速、変動する為替やデフレなど、先行き不透明な状況が続いています。このような情勢であるからこそ、国からの交付税などの動向を注視しながら、行政サービスが低下することなく継続して健全な財政堅持に努める必要を感じています。

● 提言への経過

平成16年から21年の「日南町行政改革実施計画書」での78項目に及ぶ行財政改革実施期間の検証は平成23年12月7日提出の「日南町の行政改革推進について（答申）」をもって区切りとしました。平成23年度の答申で「日南町行政改革推進項目の方向性と具体的取組み（方針案）に対する意見の取りまとめ」を添付し提出したものです。

平成24年度、本委員会においては、23年度に提出した取りまとめの検証とともに、将来を見据えた行政改革について提言します。

本年度は4回の委員会を開催し、将来を見据えたまちづくりについての議論を重ねてまいりました。人口減少と高齢化が急速に進む中、持続可能なまちづくりを進めていくためには、地域・産業・組織それぞれの将来を支える人材の育成と確保が必要であり、最も重要な取組みと考えます。

本委員会では、「住むなら日南町」「住んでよかった」と実感できるまちづくりとともに、町民自らが町の魅力に誇りを持つことができる手法や見直しについて議論を重ねました。中でも、豊かな地域社会を実現するためには地域を支える力、いわゆる『人』をテーマに議論を深めました。

共働き率は高く、女性の就労は進むも、地域の活動への参加となるとまだ男性のほうが多い状況です。人口の半数を占める女性の力はまさに「宝の山」です。女性や若者の持つエネルギーを活用して地域の活力を呼び戻し、不安感のない明るい社会の実現のためには、どのような取組みを進めるべきかをまとめましたので、町民からの声として、まちづくり行政の推進にあたっていただきたいと願っています。

● 提言内容

短期の取り組み（2年以内）

町の人口における社会動態がプラスに転じたことは、東日本大震災をきっかけとした、安心安全な生活を求める気運や、一定の人々が田舎あるいは、里山の暮らし方に価値を見いだしはじめている背景や、農林業研修生制度など様々な施策の効果と言えます。一方、町の高齢者人口は減少に転じていますが、支える若い世代も減少しているのが現状です。すべての世代の人が、それぞれの役割を担い、共に支え合う社会を目指す町の姿であり、高齢化の進む町が将来も町として存続するために必要なことです。保健・医療・福祉の基本は地域や家族での支え合いにあります。

しかし、高齢化した町での課題は多く、社会的に弱い立場の人をどう支えるのか、また、地域コミュニティはどうするのかなど様々です。

『安心安全なまちづくり』

- ・ 集会所は避難所や地域コミュニティの面で重要な施設であり継続的支援が必要である
- ・ 地域の安心安全のために地域と町の連携をより強固にする
- ・ 防災無線の更新などの新情報伝達施設の構築に着手する
- ・ タブレットなど情報通信端末を使用した双方向での見守りや情報発信の検討を行う
- ・ 必要な人に必要なサービスが行き届くために、コンパクトシティ的要素も盛り込んだ住宅等の整備

『空き家バンクの充実』

- ・ 空き地も含めた空き家登録への積極的な働きかけ
- ・ 不在所有者への理解と協力を求める
- ・ 支援員などまち協のネットワークを活用して登録を促す

日南町のソーラー発電、まんがイベントなど新たな取り組みがはじまり、町の将来の可能性を示されました。食のバザールをはじめとし、町外から日南町を訪れる人が多かった年でもあります。自然、食、文化などの魅力も発信できたり、交流につながる事業として今後も継続するなり、新たな取り組みを模索するなど積極的な姿勢が日南町を元気にします。地域の元気のバロメーターは女性が積極的に活動してることでも見て取れます。

これまでの事業や取り組みで培った、もてなしの心や思いやりの心は観光やIターン者の心も開きます。Iターン、Uターン者が地域に溶け込むかどうかは受け入れ側の気持ち次第です。

『女性がいきいきと参加できる社会』

- ・女性の地域振興センター事務長や地域担当職員の積極的登用
- ・特産品のブランド化や商品開発へ女性の感性を取り入れるなど、より一層の進出を促す

『若者への支援』

- ・同世代の若者を地元にとどめることでUターンを加速させる
- ・地域や町のイベントに企画から運営に参画することを促す
- ・若者のグループ結成への積極的な関与

『再生可能エネルギーの活用』

- ・自然環境は町民の誇りです、環境にやさしい町づくりを目指す
- ・マイクロ発電などの情報を提供し地域等での活用を促進する

町も地域もそこにある産業も支えるのは人であります。ふるさとの人や物、文化を大切にすることは地域を支える心に通じます。町に誇りを持ち、生活する人を増やすことが町の活力となると信じています。そのためには、地域資源の活用や学習を通して、魅力あるまちづくりの方策を進めていく必用があります。

『産業が支える地域の雇用と活力』

- ・ 地域振興公社を活用した産業につながる商品開発の推進
- ・ 町として今以上の特産品への支援とバックアップ
- ・ 誘致企業をはじめ地元産業の振興には町を含めた地域の支援が必要
- ・ 冬期間の加工品づくりなど産業と雇用の創出
- ・ 製造業・観光事業・農林業のマッチングを進める
- ・ 中山間地直接支払制度の事業主体など地域が持つ経済力を有効活用した方策の展開

『未来を切り拓く人を育む』

- ・ 町の子供たちへ町の魅力や誇りを伝え・守る取り組みを進める
- ・ 生涯にわたり挑戦しスキルアップしていく学習機会の充実
- ・ 起業力の養成と支援の充実から、起業アイデアの検討・活用
- ・ 地域のリーダーと営業マンの養成

『積極的な情報の発信』

- ・ 文化、自然、歴史など心を豊かに育ててくれた地域資源の情報を発信し、そこに住む人や出身者に地域を誇りに思う気持ちを醸成することで、支え合う心や地域づくりの原動力につなげる
- ・ 町の取組や魅力を発信することで集客や交流を促し、町外のファンやサポーターを味方につける
- ・ 広報誌、ホームページ、ちゃんねる日南など多様な媒体を活用して行政情報の提供を行い情報共有することで、共通の問題意識をもち、町政への参画を促す